

## 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について

高砂市子ども・子育て・若者支援プランのうち、2020年を始期とする第2期子ども・子育て支援事業計画を策定するうえで、子育て家庭の教育・保育・子育て支援サービスの利用希望と、子育てに関して日ごろ感じていることや要望などを把握するため、子育て家庭を対象にアンケート調査を実施します。

このアンケート調査は、国の基本指針により実施が義務付けられており、全市町村で実施されるものです。

### 1 調査方法について

- ① 調査対象：市内在住の就学前(0～5歳)の子どもの保護者と、小学生(1～6年生)の保護者を対象に、無作為抽出による調査を行います。また、高砂市の公立高校に通う高校生(1～3年生)を対象に、各学年1クラスを抽出し、調査を行います。
- ② 調査方法：就学前児童用・小学生用・高校生用の3種類の調査票を作成  
就学前児童については、保育所・幼稚園・認定こども園に通う児童は、園から配布・回収し、それ以外は郵送により配布・回収します。  
小学生・高校生については、学校から配布・回収とします。
- ③ 抽出者数 就学前・・・約2,000人  
小学生・・・約1,000人  
高校生・・・約300人

参考：H30.10.1 0～5歳児 4,312人 6～11歳児 4,948人

<抽出数の考え方>

- \* 量の見込み・確保策の対象となる教育・保育、子育て支援事業のほとんどが就学前児童に係るものであることから、就学前児童については、地域別の利用希望などをできるかぎり正確に把握するのに必要な数が確保できるよう、2,000人とします。
- \* 一方、小学生に係る量の見込み・確保方策に関する事業は一部に限られ、このうち学童保育所(放課後児童健全育成事業)や、その他の病児・病後児保育事業、一時預かり事業、子育て短期支援事業などは現状の推移から量を推計できることなどから1,000人とします。(国の基本指針において、就学前調査は必須ですが、小学生調査については実施が義務付けられていません。)

## 2 調査項目について

- ・「量の見込みの推計上必要な項目」として、国が定めた項目（国必須項目）
- ・職場での両立支援制度の状況や、学校教育・保育の一体的提供についての意見など、その他の事業計画の記載事項に係る項目（国任意項目）
- ・その他、子どもや子育てに関する市独自の項目（市独自項目）

## 3 ヒアリング調査について

子育て支援センターを利用している保護者とサークル団体、学童保育所のスタッフに対して、地域の現状と課題を抽出し、今後の方向性を整理するためにヒアリング調査を行います。

## 4 今後のスケジュールについて

30年11月13日	第1回高砂市子ども・子育て部会 ニーズ調査の調査方法について最終検討
30年11月15日	第1回高砂市若者部会
30年12月7日	アンケート発送
～30年12月21日	アンケート調査実施
31年1月	ヒアリング調査実施
31年1月から2月	アンケート調査票集計・報告書作成
31年2月中旬	第2回高砂市子ども・子育て部会 ニーズ調査の結果報告